

後期選抜試験を実施

本校 4 学科で 1 倍超え

南 信 州 新 聞

2025 年 (令和 7 年) 3 月 12 日 水曜日



試験会場に向かう受験生たち (飯田高校)

高校入試

飯伊 7 校で後期選抜

筆記試験と紙上面接に臨む

2025 年度高校入試の後期選抜が 11 日、県内の各校で一斉に行われた (一部は 12 日も実施)。飯田下伊那地域の全日制 7 校 16 学科では 689 人の募集に対し、634 人が志願し、5 教科の筆記試験とい

今年から全高校が行う筆記式の紙上面接や面接に臨んだ。合格発表は 21 日。

飯田市上郷黒田の飯田高校には、理数科 50 分の制限時間で実施。国語、数学、社会、昼食を挟んで理科、英語の順に行

午前 8 時過ぎ、冷たい雨が降る中で保護

者の送迎などで校門から入り、試験会場へと向かった。各校とも試験は午前 9 時 25 分から各教科 50 分の制限時間で実施。国語、数学、社会、昼食を挟んで理科、英語の順に行

った。紙上面接は午後 3 時 35 分、同 45 分の 10 分間で実施。対面による面接は午後 3 時 35 分から翌日までの間で行う。

飯伊 7 校の平均倍率は前年より 0.03 倍低い 0.92 倍。上

伊那と諏訪地域を含めた第 3 通学区の平均 0.93 倍を 0.01 倍下回った。

志願者数は前年より 80 人、募集人員は 61 人減少した。7 校 17 学科のうち、1 倍を超えたのは飯田の

理数、飯田 OIDE 長姫の電気電子工学、同建築学、同社会基盤工学、同機械工学、下伊那農の地域資源で、松川の普通と下伊那農の生物活用は募集と同数の 1.0 倍だった。残る 5 校 7 学科は 1 倍を下回った。

ネスクイダのお仕事見学に本校 2 年生が参加

2025 年(令和 7 年) 3 月 15 日 土曜日 南 信 州 新 聞

実際に見て企業知る

ネスクイダ「お仕事見学」開催中

南信州・飯田産業センター内にある企業グループ「ネスクイダ」は春休み期間中、地域の学生が地元産業のものづくり現場を見学できる

同社の花井孝文社長らが事業を説明し、旋盤技術を生かし開発したイングリッシュハンドベルも紹介。社内コンペで

「お仕事見学」を開いている。学生が地元企業を「知る」機会をつくり、就職を考える際の選択肢につなげる狙いで、今年で3回目。ネスクイダの34社が参加し、昨年から対象を飯伊にある全高校の生徒などに拡大。気軽に好きな日時で見学できるのが特徴だ。

13日は医療機器部品加工を手掛ける花井メディテック（飯田市北方）に、飯田OIDE長姫高校電子機械工学科2年の井上玲さん（17）が見学に訪れた。

社員がアイデアを出し合い、乾杯カップ「花音」などの商品が生まれたことを伝えた。全ての工場を見て回り、大型の複合加工機による製造や検査、CAD・CAMによる設計など作業現場を一通り見学。

井上さんは「加工や組み立てが好きで、就職に生かしたかった」と参加の動機を語り、「学校にはない機械が動いているのが新鮮で、多様な事業をしていることも分かった。実際に見た方がより理解が深まる」と話した。花井社長は「見学



花井メディテックが開発したハンドベルを体験する高校生

することで企業のイメージが湧き、就職のミスマッチ防止にもなる。高校生は企業を自由に見る機会がないのでぜひ利用してもらい、地域の企業全体、生徒の皆がウィンウィンになれば」と話した。

お仕事見学は31日まで開き、28日まで申し込みを受け付けている。希望者はネスクイダホームページ内の専用フォームから申し込むか、参加企業へ直接電話する。